



### 若桜町の現状と課題は…

- 人工林の高齢林化が進む  
→早急かつ計画的な伐採と利用
- 八頭中央森林組合 若桜事業所  
平成32年度:25,000m<sup>3</sup>  
※平成26年度の3.1倍(組合平均2.3倍)  
→急拡大による弊害(荒い施工など)  
発生防止

### 若桜町の課題と対応は…

- 早急かつ計画的な伐採と利用
- 1 森林経営計画に基づく  
施業促進  
↓↓(集約施業を進めるために)
- 2 町の個人情報による不在村  
森林所有者への働きかけ
- 急拡大による弊害(荒い施工など)  
発生防止
- 3 適切な路網整備あるいは  
架線集材導入

同時進行でバランス良い林業

### 1 森林経営計画に基づく施業促進

八頭中央森林組合  
若桜事業所の森林経営計画

- ※H24認定9団地、間伐面積213ha
- 計画の実行が遅れ気味
- ※進捗率36%、未施業地3団地あり
- 遅れへの危機意識がやや低い

↓

町・下請事業者・製材所を巻き込み、  
関係者一体となつての推進

### 1) 森林経営計画「見える化」モデル作業

団地別施業状況一覧表だけでは現状が  
分かりづらい

↓

H26までの3年  
間の団地 +  
H22~H27直近  
分間伐施業実施  
箇所 +  
H24未施業団地

### 2) 森林経営計画「見える化」の活用

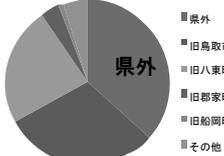
関係者に対して  
「見える化」モデル  
図を示して、現  
状説明及び確実な  
計画遂行を提案

↓

- ・現状認識の共有化
- ・未施業団地のH28事業化

## 2 町の個人情報による不在村森林所有者への働きかけ

若桜町の不在村者  
約450人（14%）



- ・連絡しにくい県外居住者が約4割
- ・作業道開設など集約的施業が困難

町有の個人情報で連絡を容易にできないか？

## 2 町の個人情報による不在村森林所有者への働きかけ

### 管内市町担当者と意見交換

必要性は理解。個人情報直接提供は困難

市町が個人情報により不在村者に連絡することは可能かもしれない。

## 3 適切な路網整備あるいは架線集材導入

### 1 適切な整備促進

#### ① 林業専用道

…補助申請後に線形等を現地チェック  
→難あっても修正困難なことが

## ① 林業専用道

### 変更可能な素案段階で早期チェック

H27：3路線実施

- ・急傾斜地など危険箇所を通っていないか
- ・利用区域内の森林状況は適切か



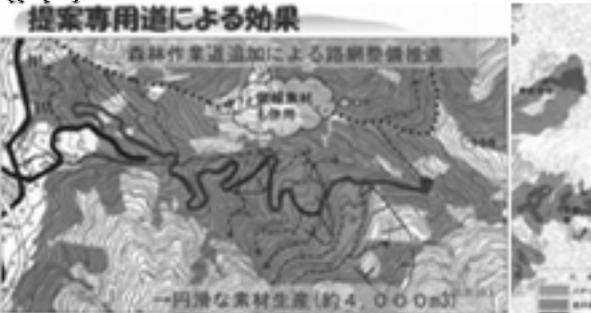
改善点を指摘 → 1路線は廃止

## ① 林業専用道

### 廃止路線→利用価値の高い代替道の提案

見える化モデル図より、人工林分布と幹線空白の状況を検討

### 提案専用道による効果



→円滑な集材生産(約4,000㎥)  
→周辺の未整備森林の解消促進

## ② 森林作業道

### …崩れにくい作業道の定着へ

開設者に個人差→個々にチェックと指導

若桜町内で作業道を開設している4事業者の現場

重点：盛り土の基面出し・転圧、生態系配慮

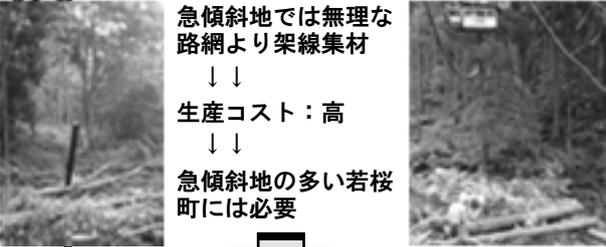


急傾斜地は崩れやすい

**② 路網整備困難地での架線集材導入**

急傾斜地では無理な路網より架線集材  
 ↓↓  
 生産コスト：高  
 ↓↓  
 急傾斜地の多い若桜町には必要

架線集材の低コスト化取り組み支援



**② 路網整備困難地での架線集材導入**

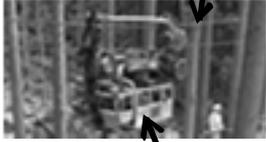
コスト要因等の把握  
 → 事業体の協力を得て工程調査を実施

3.5 ~ 4.0 m<sup>3</sup>/人・日

主索のワイヤー  
 ↓  
 自走式搬器  
 ↑

- ・主索撤収に時間がかかる
- ・自走式搬器の移動速度が遅い

→ H27、能力3倍の自走式搬器等を導入  
 ➤ 稼働後に再調査し、低コスト化へ



**まとめ**

同時進行により良い林業実現

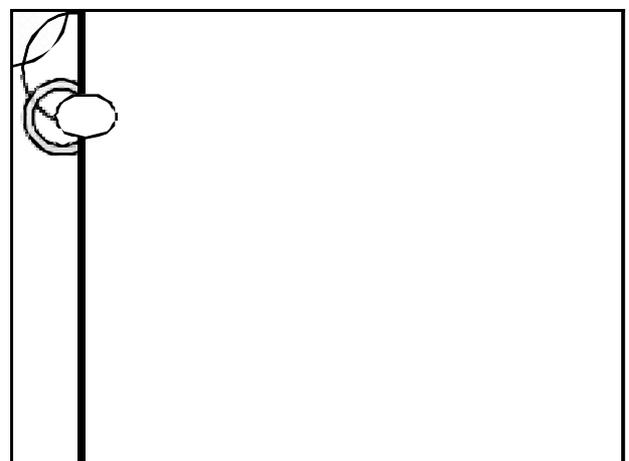
<p>早急かつ計画的な伐採と利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画「見える化」により、情報共有と未施業団地の事業化ができた。</li> <li>・不在村所有者に係る必要性を町が認識した。</li> </ul>	<p>急拡大による弊害発生防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用道：早期チェックで見直しができた。</li> <li>・作業道：個別指導で施工差改善が進んだ。</li> <li>・架線集材低コスト化意識が向上した。</li> </ul>
--	--

今後は

27年度普及活動の継続  
 +  
 ・増産に対応できる担い手の確保と安全性の徹底

➡

**問題の少ないバランスの取れた林業へ**



### 崩れにくい森林作業道の定着へ

重点：盛り土の基面出し・転圧、生態系配慮

地山面が残り、滑り面で崩れやすい。転圧不良だと運搬車走れないかも

水平な基盤あり。地山面もなく崩れにくい。

### 崩れにくい森林作業道の定着へ

重点：盛り土の基面出し・転圧、生態系配慮

溪流魚が遡上できる谷渡り...下流側処理

巨石を配し、緩やかな勾配をつける

主索撤収に時間がかかる

### 1 森林経営計画に基づく施業支援

森林経営計画「見える化」モデルによる促進  
まず、とりまとめ表の「時点」精度向上  
※完了後記入のみで施業中森林は反映されず

記載内容の改善を提案

- ・着手年月の明記
- ・実施予定年等の施業情報を概況欄に記載  
→ 分かりやすい「現時点情報」作成

